

小学校第5学年 社会科学習指導案

小単元：これからの食料生産とわたしたち(配当4時間)

食料輸入を支える海上輸送の役割 (2/4)

◆目標

- 我が国の食料生産には、食料自給率の低下や食の安全性などの問題があることを理解し、これからの食料生産のあり方について考えようとしている。
- 我が国の食料生産の現状から学習問題をつくり、統計などの資料を活用して我が国の食料生産をめぐる問題について調べてまとめるとともに、これからの食料生産について何ができるか自分の考えをもって話し合いに参加し、これまで学習したことと関連づけて考え、適切に表現する。

◆評価規準

○社会的事象への関心・意欲・態度

- ①我が国の食料生産の現状と未来について関心をもち、意欲的に調べている。
- ②自分の生活と食料生産とのかかわりから、これからの我が国の食料生産について考えようとしている。

○社会的な思考・判断・表現

- ①我が国の食料生産をめぐる問題について、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。
- ②食料自給率の低下や食の安全・安心、生産者と消費者などの観点をもとに、思考・判断したことを適切に表現している。

○観察・資料活用の技能

- ①地図や地球儀、統計などの資料を活用して、我が国の食料生産の問題点について必要な情報を集め、読み取っている。
- ②調べたことを図や文章にまとめている。

○社会的事象についての知識・理解

- ①様々な食料生産が国民の食生活を支えていること、食料の中には外国から輸入しているものがあること、食料の輸入の多くは海上輸送に支えられていることを理解している。
- ②我が国の食料生産には、食料自給率の低下や食の安全性などの問題があることを理解している。

この単元では、4時間扱いのうちの2時間目に、「食料自給率の低下」と関連させて、食料の輸入を支える海上輸送の役割の大きさに目を向ける内容を、少しだけ付け加えています。
時間数を増やすことなく指導できるように、工夫しています。



Copyright © 2016 kids company, inc. All rights reserved.

◆指導・評価計画（各時間）

	本時のめあて	○おもな学習活動 ・ 内容	◆指導上の留意点	☆評価計画
学習問題をつかむ	<p>①日本の食料生産をめぐる問題点 p. 112～113</p> <p>食料生産の問題について話し合い、学習問題をつくりましょう。 (1時間)</p>	<p>○スーパーマーケットの売り場の写真や資料を見て、気づいたことや、考えたことを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本産だけでなく、外国産の商品も多く売られている。 ・同じ野菜でも日本産と国産では価格に大きな違いが見られる。 ・日本の食料自給率は他の国と比べて低く、また40年前と比べても下がっている。 ・小麦や大豆をはじめ、自給率の低い食べ物が多く、輸入でまかなっている。このままで問題はないのだろうか。 ・食の安全性の問題がニュースで流れていたことがある。安心して食べられるかについての問題も抱えていると思う。 	<p>◆スーパーマーケットの写真から読み取れることと資料を関連づけて考えさせ、食料自給率の低下の問題に気づけるようにする。</p> <p>◆食の安全に関する新聞記事を用い、食の安全・安心の問題にも目が向くようにする。</p>	<p>☆<知理①> 様々な食料生産が国民の食生活を支えていること、食料の中には外国から輸入しているものがあることを理解している。</p> <p>☆<思判表①> 我が国の食料生産をめぐる問題について、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。</p>
	<p>学習問題 食料生産にはどんな問題があり、これからの食料生産をどのように進めたらよいでしょうか。</p>			
調べる	<p>②わたしたちの食生活の変化と食料生産 p. 114～115</p> <p>日本の食料生産には、どのような問題があるのでしょうか。 (1時間)</p>	<p>○40年の間に食生活がどのように変化し、どんな問題があるのか調べ、問題を解決するための取り組みについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和食より洋食が多くなってきている。 ・外国から輸入される食料品が増え、食料自給率が低くなっている。 ・輸入が増えたことで国内の生産者が減り、耕地面積が減るという問題が起きている。 ・今の日本の食料生産や食生活を見直す必要がある。 ・地産地消の取り組みなど、自分たちでも自給率を上げることができるのではないかな。 ・輸入先での災害などにより、日本に食料品が入ってこなくなる可能性もある。 	<p>◆食生活の変化によって輸入が欠かせなくなったことに気付くことができるようにする。</p> <p>◆食料輸入の増加により、農業や漁業の就業人口や耕地面積の減少につながったことに気付けるようにする。</p> <p>◆TPPの現状を把握し、指導したい。</p>	<p>☆<技能①> 地図や地球儀、統計などの資料を活用して、我が国の食料生産の問題点について必要な情報を集め、読み取っている。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・食料の輸入を支える上で海上輸送は重要な役割を果たしている。 ・海上輸送ができなくなったら、日本に食料品が入ってこなくなる可能性がある。 ・日本の食料輸入を支える海上輸送について、関心を高める必要がある。 	<p>◆海上輸送ができなくなった場合を想定し、食料輸入における海上輸送の重要性に気付かせる。</p>	<p>☆<知理①> 食料の輸入の多くは海上輸送に支えられていることを理解している。</p>
		<p>食生活の変化や就業人口の減少、農業生産や漁業生産の減少が食料自給率の低下につながっている。②</p>		<p>☆<知理②> 我が国の食料生産には、食料自給率の低下などの問題があることを理解している。</p>



青色の部分が、海上輸送に関連する内容です。
この単元では、2時間目の「食料輸入量の増加と自給率の低下」の学習と関連させることで、無理なく、食料を運ぶ船の様子や海上輸送の役割の大きさに触れることができます。45分間の授業の中に収まるよう、全体の流れの中で時間配分を調整するとよいでしょう。
なお、2時間目の具体的な学習の流れは、4ページにある「本時指導案」をご覧ください。

	<p>③食の安全・安心への取り組み p. 116~117</p> <p>食の安全・安心に対する取り組みは、どのように行われているのでしょうか。 (1時間)</p>	<p>○食の安全・安心に向けて行われている取り組みや環境との関連について調べ、食の安全・安心に向けた行動について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産地や農家の方の写真を表示されると安心して買うことができる。 ・トレーサビリティのしくみがあると、生産者が責任をもって出荷しているので、消費者も安心して買うことができる。 ・自分たちが食に関心をもつことで、安全・安心な食料品を選ぶことができる。 ・安全・安心な農産物や水産物を育てるには、環境をよくしていく必要がある。自分たちの生活にとっても環境保全は大切だ。 <p>食の安全・安心に向けた取り組みが行われている。安全・安心な食料の確保のためには、食に関心をもつことや食料を生産するための環境についても考えていく必要がある。③</p>	<p>◆トレーサビリティの実例を見せることにより、食の安全・安心につながっていることを実感できるようにしたい。</p> <p>◆環境に目を向けることで、農業や漁業が自然環境と深いかかわりをもって営まれていることを改めて考えられるようにする。</p>	<p>☆〈技能①〉 地図や地球儀、統計などの資料を活用して、我が国の食料生産の問題点について必要な情報を集め、読み取っている。</p> <p>☆〈知理②〉 我が国の食料生産には、食料自給率の低下や食の安全性などの問題があることを理解している。</p>
まとめる	<p>④-1 これからの食料生産について考える p. 118</p> <p>これからの食料生産について調べたことをふり返り、まとめましょう。 (1/2時間)</p>	<p>○これまで学習してきたことをもとに、これからの食料生産について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自給率が低下した要因 ・自給率が低いことの問題点 ・輸入にたよる現状の問題点とその対策 ・安全・安心に対する取り組みとその活用 ・食料生産と環境保全のつながり <p>我が国の食料生産を発展させるためには、様々な課題の解決が必要であり、わたしたち国民の努力が大切である。④-1</p>	<p>◆「ことば」を活用して表現させることによって、これまで学習したことを生かせるようにする。</p>	<p>☆〈関意態②〉 自分の生活と食料生産とのかかわりから、我が国の食料生産の発展を考えようとしている。</p> <p>☆〈思判表②〉 食料自給率の低下や食の安全・安心、生産者と消費者などの観点のもとに、思考・判断したことを適切に表現している。</p>
いかす	<p>④-2 テレビ番組をつくらう p. 119</p> <p>食料生産の未来のために、わたしたちは何ができるのでしょうか。 (1/2時間)</p>	<p>○これからの食料生産について話し合ったことをもとに、食料生産の未来のために自分たちができることについてテレビ番組をつくるつもりで絵コンテにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食料自給率 ・食の安全・安心 ・食料生産に携わる人の問題 ・自然環境とのつながり <p>食料生産は、わたしたちの生活を支える重要な役割を果たしている。これからも食料生産を発展させていくためには、自分たちも社会を支える一員として主体的に考えていくことが大切である。④-2</p>	<p>◆「まとめる」で話し合ったことをもとに、我が国の食料生産の発展について考えたことを表現させる。</p>	<p>☆〈技能②〉 食料生産の未来のために自分ができることについて、絵コンテにまとめている。</p>

※東京書籍平成27年度用『新編 新しい社会』5年上単元指導計画より

◆本時指導案 食料輸入を支える海上輸送の役割 (2/4)

(1) ねらい

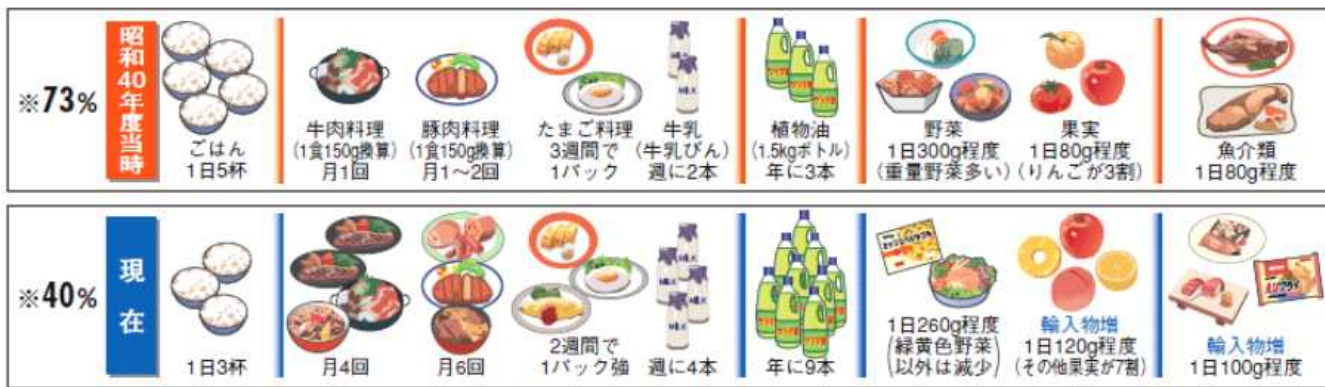
日本の食料生産には、食生活の変化や就業人口の減少、農業生産や漁業生産の減少などにより食料自給率が低下しているという問題があることを調べ、分かったことを話し合う。

(2) 展開

過程	○学習活動 ・ 学習内容	◎資料 ◆指導上の留意点
導入	<p>○資料を基に、日本の食生活の変化について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・40年前と比べ洋食が多くなり、食生活が変化している。 <p>○食生活の変化によって日本の農業などの食料生産はどのような影響を受けるか予想し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米を作る農家が減っていくのではないかな。 ・小麦や肉などの輸入が増えると、日本の農業や畜産物の生産が少なくなっていくのではないかな。 	<p>◎食事の内容と食料消費量の変化 資料1</p> <p>◆この40年ほどで日本の食生活が大きく変化したことに気付くようにする。</p>
	<p>食生活の変化によって、日本の食料生産にどのような問題があるのか調べよう。</p>	
展開	<p>○資料を基に、日本の食料生産の問題点について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洋食に使う肉や小麦などの食品の輸入が大きく増えている。 ・日本の食料自給率が低くなっていることは問題だ。 <p>○資料を基に、個人やグループで日本の食料生産における問題点について調べた後、学級全体で発表し合い、確かめる。</p> <p><産業別の人口の割合の変化></p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業・林業・水産業の人口の割合が10分の1以下になった。 ・このままでは農業や水産業が続けられなくなる心配がある。 <p><土地利用の変化></p> <ul style="list-style-type: none"> ・田や畑の面積が減り続けている。 ・このままでは日本の農業がおとろえていってしまう。 <p><日本の食料生産とTPP></p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸出面ではよい点があるが、農産物の輸入面では、値段の安い外国産の食料輸入が増えるので、日本の農業が心配だ。 <p><地産地消></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消の取り組みなど、自給率を高める必要がある。 <p><農業協同組合の後藤さんの話></p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸入先の災害などで食料輸入ができなくなったら大変だ。 	<p>◎主な食料の品目別輸入率の推移 資料2</p> <p>◎国産品だけで作った食事 資料3</p> <p>◆日本の食生活の変化と関連させながら、日本の食料品別の輸入量の変化を読み取れるようにする。</p> <p>◎教科書・資料集等の資料を適宜提示する。</p> <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業別の人口のわりあいの変化 ・土地利用の変化 ・農業協同組合方の話
	<p>○こんなにたくさんの食料はどのように輸入されているのか予想し、資料を基に調べる。</p> <p><食料輸入を支える海上輸送の役割></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食料の輸入では海上輸送が大きな役割を果たしている。 ・海上輸送が困難になると食料の輸入ができず、大変なことになるので、日本の食料輸入を支える海上輸送の重要性にもっと関心をもつ必要がある。 	<p>◎小麦を運ぶ専用船 資料4</p> <p>◎船と飛行機の貿易量の割合 (99.6%) 資料5</p> <p>◆日本の食料の輸入における海上輸送の重要性に気付かせたい。</p>
まとめ	<p>○本時の学習をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の食生活の変化によって小麦や肉などの食料の輸入が増え、日本国内の食料生産が減っていることは問題である。 ・食料の輸送では海上輸送が大きな役割を果たしている。 ・地産地消など食料自給率を高める取り組みが必要だ。 	

資料1 食事の内容と食料消費量の変化

食事の内容と食料消費量の変化



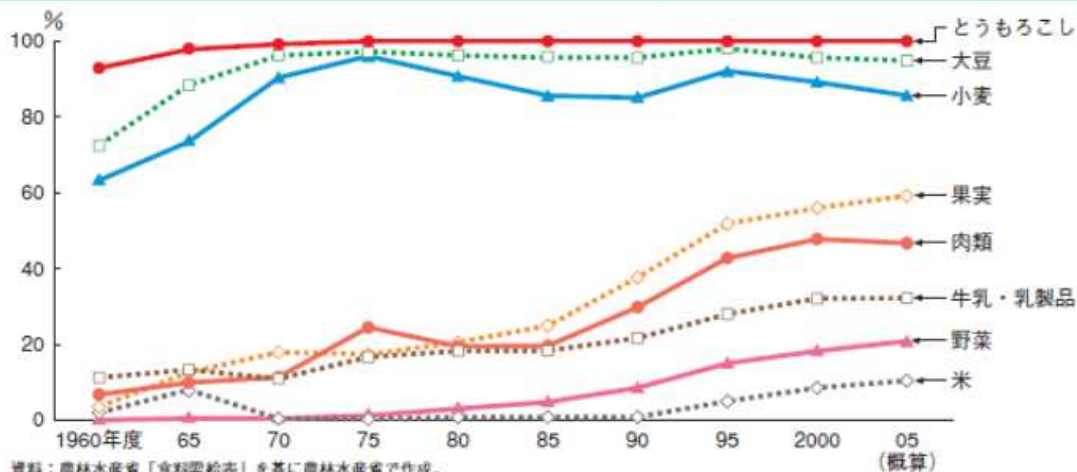
資料：農林水産省「食料需給表」を基に農林水産省で作成。
注：※は供給熱量ベースの総合食料自給率である。

平成18年度 食料・農業・農村白書より

http://www.maff.go.jp/j/wpaper/w_maff/h18_h/trend/1/zoom_03.html

資料2 主な食料の品目別輸入率の推移

図1-12 主な食料の品目別輸入率の推移



資料：農林水産省「食料需給表」を基に農林水産省で作成。
注：1) 輸入率=輸入量/(国内生産量+輸入量)×100。
2) 輸入量については、生鮮換算等された数値である。

平成18年度 食料・農業・農村白書より

http://www.maff.go.jp/j/wpaper/w_maff/h18_h/trend/1/t1_1_1_02.html

国産品だけだと おなかいっぱいにならないの？

私たちの生活では、さまざまな食材がいつもお店に並んでいます。しかし、その「食べもの」すべてが、日本で作られているわけではありません。その多くは外国からの輸入品なのです。

国産品だけで作った食事

洋食

牛乳・乳製品 28%

果物 43%

野菜 80%

肉類 9%

小麦 (パン・パスタなど) 13%

食料自給率とは

「食料自給率」とは、国内で消費される食べものが、どのくらい国内生産によってまかなえているか(自給できているか)を示す割合です。日本は食べものの多くを輸入に頼っています。

食料自給率は、品目によって異なります。例えば、日本国内でたくさん作られている米は100%となっていますが、外国でたくさん作られている肉類や大豆などは低水準となっています。

ダイチくん

和食

魚 60%

海藻 (のり、わかめなど) 66%

大豆 (納豆、みそなど) 7%

米 (注: 食料) 100%

日本の食べものについて
もっと詳しく知りたくな

みんなで日本の食料事情を
調べに行こう!

Go!

モモ

農林水産省 パンフレット「ニッポン食べ物力見つけ隊」
http://www.maff.go.jp/j/pr/annual/pdf/tabemono_mikke.pdf

資料4 小麦を運ぶ専用船

ばら積み船

小麦やとうもろこし、鉄をつくる鉄鉱石などを積み込んで運ぶ船。

みんなが食べるパンやお菓子の材料になる小麦は、その約9割をアメリカやカナダなどから「ばら積み船」で輸入しているよ。

川崎汽船「ZEN-NOH GRAIN MAGNOLIA」

箱に入れないで運ぶのね！ どうやって小麦を船から出すの？

小麦のつぶは、大きなストローのような「ニューマチック・アンローダー」という機械で吸いあげて、港の貯蔵庫（サイロ）まで運ぶんだ。

ニューマチック・アンローダー

全農サイロ

一度にたくさん運ぶために、つぶのまま積み込みます。

POINT 船をタテに切ってみよう！

小麦などの穀物のつぶは軽いから、運んでいるときに右や左にかたよってしまうことも。バランスをくずさないように、船のなかはこんな形をしているよ。

とっても広い船内では、小麦を吸い込みやすい場所に集めるブルドーザーが大活躍！

日本に輸入された小麦は、こんなおいしいメニューに変身！

パン、ピザ、うどん、ケーキ

ばら積み船で運ばないと、食べられなくなっちゃうんだね！

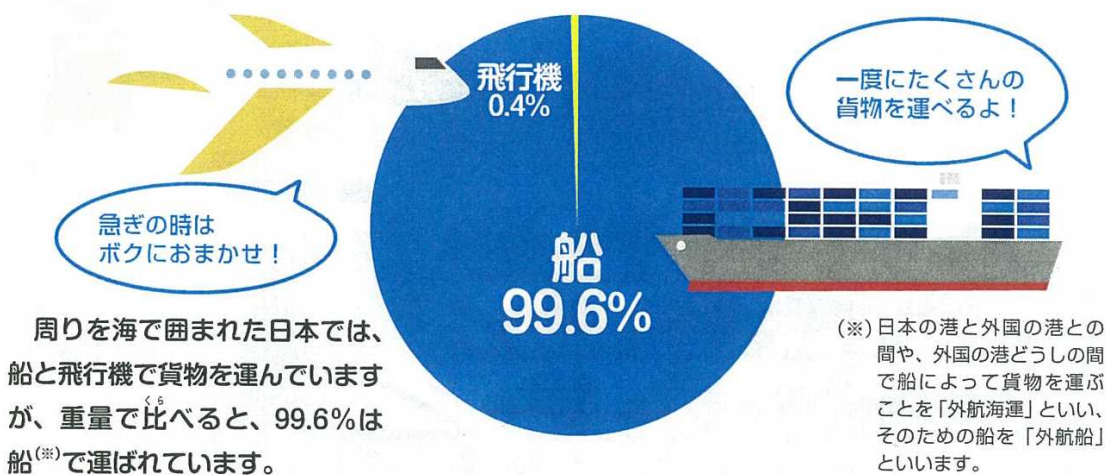
公益財団法人日本海事広報協会「ぼくとわたしのシップガイド」 p.5~6より



これからも発展していく港湾の役目① 人々の暮らしや産業を支える港湾

港湾は日本の玄関口です。日本は原油などのエネルギーの9割以上を輸入にたよっています。エネルギーや原材料は船により日本の港に輸入されます。国内でそれらを利用してつくった自動車や産業機器は、港で船に積まれ世界中に輸出されます。

日本の貿易量の99.6%は、いろいろな船で運ばれているよ！



※「日本の海運 SHIPPING NOW2015-2016」より作成